

昨夏の試行の結果について

- ・ 東京都 P 1 ~ P 8
- ・ 組織委員会 P 9 ~ P 3 0

暑さ対策

(1) 検証の主な視点

- 暑さ対策設備（ハード対策）の効果測定、利用者満足度の検証
- 暑さ対策グッズ（ソフト対策）の利用者満足度の検証、イベント参加者の対策状況調査

(2) 試行検証の概要

競技名	日程	対策実施内容	
		ハード対策	ソフト対策
ビーチバレーボール	7月24日(水)～ 7月28日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 休憩所 <ul style="list-style-type: none"> ・サーカス型テント ・送風機 ・ウォーターサーバー ○ 大型ミストタワー（極微細ミスト） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 扇子 ○ ネッククーラー ○ 瞬間冷却保冷剤
ボート	8月7日(水)～ 8月11日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 休憩所 <ul style="list-style-type: none"> ・大型テント（高遮光性遮熱性シート） ○ 極微細ミスト ○ 散水チューブ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 瞬間冷却保冷剤 ○ 手ぬぐい
トライアスロン	8月15日(木)～ 8月18日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 休憩所 <ul style="list-style-type: none"> ・日除けシート（高遮光性遮熱性シート） ・ウォーターサーバー ・送風機 ○ 大型ミストと小型ミストを併用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 紙製うちわ ○ 接触冷感ハンカチ ○ うちわファイル
ホッケー	8月17日(土)～ 8月21日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 休憩所 ○ 仮設型植栽ユニット（ベンチ・ミスト付） ○ 極微細ミスト ○ 散水チューブ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アイスバッグ ○ 紙製サンバイザー ○ 紙製帽子
マラソン	9月15日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 休憩所 <ul style="list-style-type: none"> ・スポットクーラー ・ウォーターサーバーと大型給水タンクを併用 ○ 極微細ミスト ○ フラクタル日除け、ベンチ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手回しファン ○ ネッククーラー ○ かち割り氷 ○ 紙製サンバイザー ○ 瞬間冷却保冷剤 ○ メガホンうちわ

暑さ対策

(3) 主な検証結果

【ハード対策】

- テントによる日除けと送風機等を組み合わせた場合は、暑さ指数の低減効果が高く、利用者からも好評
- 日陰のない場所に単独で設置したミスト等は低減効果が限定的
- ウォーターサーバーは利用者も多く、マイボトルへの補水にも活用

対策内容(主なもの)	試行実施場所(競技)	暑さ指数(WBGT)計測結果			利用者アンケート好評割合(注2)
		対策なし	対策あり	低減効果(注1)	
大型テント (遮光遮熱性シート) +極微細ミスト	ボート	31.1℃	28.2℃	2.9℃	93%
テント(通常)+送風機	ビーチバレー ボール	30.7℃	27.9℃	2.8℃	92%
テント(通常) +スポットクーラー	マラソン	28.6℃	25.6℃	3.0℃	92%
ミストタワー (極微細ミスト)	ビーチバレー ボール	30.7℃	30.5℃	0.2℃	86%
散水チューブ	ボート	31.1℃	30.9℃	0.2℃	70%

(注1) 暑さ指数(WBGT)が最も高かった時間において、対策なし及びありの箇所の暑さ指数を計測し、低減効果を算出した。なお、各対策において、測定場所や測定時刻が異なり、気象条件が同一ではないため、それぞれの効果を単純に比較することはできない。

(注2) アンケートにおいて「とても良い」、「良い」と回答した人の割合

暑さ対策

(3) 主な検証結果

【ソフト対策】

- 「体を冷やす」グッズは概ね高い評価
 - ・ 特に、ネッククーラー等の首元を冷やすグッズの評価が高い

種別	暑さ対策グッズ(主なもの)	利用者アンケート好評割合(注3)
体を冷やす	マフラータオル(ネッククーラー) 瞬間冷却保冷剤、かち割り氷	87%
風を当てる	扇子、紙製うちわ、手回しファン	83%
日差しを遮る	紙製帽子、紙製サンバイザー	61%

(注3) アンケートにおいて「とても良い」、「良い」と回答した人の割合

- 参加者が自ら持参したグッズは、最も多い「飲料」でも35%
 - ・ 自分自身で身を守る工夫を促す、積極的な情報提供も必要

暑さ対策

(3) 主な検証結果

【専門家の意見】

		概 要
ハード対策	テント	・暑さ対策としては日陰が最も顕著に効果がある。
	ミスト	・ミストは湿度が上がる点を考慮すべきで、特に人が滞留する場所では注意が必要。 ・ミストの活用は日陰との組み合わせが重要。
	送風機	・風を当てることで、気化熱による冷却を促進することが合理的。
ソフト対策	体を冷やすグッズ	・ネッククーラーなどにより、身体、特に首元を冷やすことは有効。
	風を当てるグッズ	・うちわ等による風も、立ち止まっているときには効果的。 ・グッズを活用した注意喚起も有効であり、多言語化して外国人対策として活用している例もある。
	飲料	・熱中症対策には冷たい水を飲むことが一番である。
その他		・可能であれば、空調がしっかりと効くスペースの提供が望ましい。 ラストマイル上の店舗等の協力を求めることも検討すべき。

暑さ対策

(4) 今後の対応

【ハード対策】

重点箇所においてテントによる日陰を十分に確保、送風機等と組合せた効果的な対策を実施。

- 休憩所
 - ・ 距離の長いラストマイルや路上競技の沿道に休憩所を設置予定
 - ・ テント、送風機、ベンチ、給水設備を基本的仕様とし、現地の状況により、ミスト等の追加設備も検討
 - ・ 沿道施設の協力を得て冷房が効いたエリア（クールシェア）を提供予定。
- 日除け
 - ・ P S A（歩行者スクリーニングエリア）前における対策として日除けを設置予定。テント、送風機を基本的仕様とする。
- その他
 - ・ 今後も、休憩所や日除けの設置について、関係機関との調整や現地調査を継続



▲テント(遮光遮熱性シート)+極微細ミスト



▲テント+送風機

暑さ対策

(4) 今後の対応

【ソフト対策】

「体を冷やす」「風を当てる」グッズを配布し、情報提供ツールとしても活用。

- ネッククーラー
 - ・提供方法を工夫し、体を冷やすグッズとしてネッククーラーを配布予定

- 紙製うちわ
 - ・デザインや材質に配慮し、風を当てるグッズとして紙製のうちわを配布予定
 - ・熱中症等の注意情報を記載するとともに多言語化し、日本の暑さに不慣れな外国人対策としても活用。

- その他
 - ・特に対策が必要な箇所については、現地の状況等を踏まえ、かち割り氷の配布も検討
 - ・今後も、配布数や配布場所について、関係機関との調整等を継続



▲ウォーターサーバー



▲ネッククーラー

暑さ対策(医療・救護)

(1) 検証の主な視点

- 救護所の運営（人員、資器材の種類・数・補充方法、対応記録 等）
- スペースの確保が困難なラストマイルや路上競技沿道での救護における医療用車両の活用
- 都市オペレーションセンター（COC）や医療機関等との連携

(2) 試行検証の概要

- コンテナを活用した救護所を設置。医師・看護師配置、簡易ベッド1床
（ビーチバレーボール 7月24日（水）～28日（日））
- 東京DMATカーを活用した救護所を設置。医師・看護師配置、患者数に応じてテントも活用
（マラソン 9月15日（日））



▲コンテナ(ビーチバレー)



▲東京DMATカー(マラソン)



▲テント(マラソン)

暑さ対策(医療・救護)

(3) 主な検証結果

- ビーチバレーボールにおける救護所利用実績7名のうち、熱中症疑いの患者4名(入場者数5日間計約5200人)。大会時のラストマイル距離や観客数、競技日程等を勘案すると、熱中症疑いの患者が同時複数発生の可能性
- 路上競技沿道における車両やテントを活用した医療救護活動は有効。交通規制下では救急搬送には工夫が必要
- 資器材の在庫管理や患者記録の保管、COCとの連絡調整など、多岐にわたる事務的業務が発生
- 救護所の表示が分かりにくいという指摘あり。

(4) 今後の対応

- 想定される観客数やラストマイルの距離など各会場のリスク分析とテストイベントの結果を踏まえ、より効果的な救護所の設置方法を検討
- 体調不良者を早期に発見できる体制、救護所から近隣医療機関への患者搬送動線など、適切な救護体制を検討
- 各救護所において、医師・看護師を事務的に補助する体制を検討
- 救護所の設置場所の周知方法や分かりやすい救護所の表示を検討



暑さ対策の昨夏の試行内容と現在の検討状況

(公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

2020年1月31日

1. 暑さ対策の全体像

2. 昨夏の実績

3. 暑さ対策の検討状況

(1) アスリート向け

(2) 観客向け

(3) 大会スタッフ・ボランティア向け

これまでのスケジュール

テストイベントでの試行、IF/NFの意見交換を踏まえ、追加策を具体化

(7月下旬～9月中旬)

テストイベントでの暑さ対策の試行・検証



(9月初～11月末)

課題抽出と追加的対策の検討

- ・アスリート向け／競技別向け
- ・観客向け
- ・大会ボランティア含む大会スタッフ向け
- ・ライツホルダー／プレス向け
- ・外国人含む熱中症弱者への情報発信



(10月～11月末)

会場ごとの暑さ対策整理と追加策の検討



(11月中旬～12月)

会場ごとの暑さ対策運営の具体的検討



(年度内)

V4予算での暑さ対策を順次執行

1 暑さ対策の全体像

	選手・競技役員	観客	大会ボランティアを含む 大会スタッフ	メディア (プレス・ライツホルダー)
施設設備 日射遮蔽設備の配置検証	<ul style="list-style-type: none"> ・アスリートラウンジ ・選手用休憩所 ・遮熱性舗装の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日除けスペース・冷風機 ・体調不良の方用休憩所 ・街路樹の計画的な剪定 日射遮蔽テント&プレハブの拡充 PSA前テント拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイニングエリア ・休憩所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベニューメディアセンター ・ブロードキャストコンパウンド ・ブロードキャスト中継車日除け
飲料供給 飲料供給強化	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料販売 ・飲料持込み可 (一定の条件下) 仮設給水栓(水飲み場)増設	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料提供 ・飲料販売 ・給水 飲料水提供・冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・飲料提供 ・飲料販売 飲料水提供 屋外ミックスゾーンの日除け強化
予防運営 (日射遮蔽備品含む) 適切な休憩の取り方	<ul style="list-style-type: none"> ・競技スケジュール ・競技中断、中止基準設定、水分補給に関するルールのIFの連携協議検討 ・アイシング用氷 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な声かけ ・スポーツレベン等注意喚起 ・予防啓発うちわ配布 ・朝顔のフラワーレーン ・ラストマイル休憩所の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な休憩の取り方 ・体調管理ブック活用検討 ・警備員のサングラス着用 	<ul style="list-style-type: none"> ・RHB向け空調服の推奨 屋外特定会場の日除け強化 日除け傘等の備品強化(IBC) 塩タレット、冷却シート、PC日除けカバー
救護運営 体調不良者一次対応	<ul style="list-style-type: none"> ・選手用医務室 ・救急車 ・医療用アイスバス検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・医務室 ・救急車 ・ファーストレスポンス巡回 ・救護所等の設置 クールスペースの備品強化	<ul style="list-style-type: none"> ・医務室 ・救急車 	<ul style="list-style-type: none"> ・医務室 ・救急車
情報提供 注意喚起 外国人への啓発情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・IF/NF、NOC、NPCを通じた発信 ・気象情報センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会Webサイト ・モバイルアプリ ・CRM/チケットメール ・観戦ガイド ・啓発リーフレット アプリシステム開発	<ul style="list-style-type: none"> ・共通事前研修等における理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報センター

オレンジ部分は
今後検討強化が必要なテーマ

黄色部分は追加対策

2 昨夏の取組み

『暑さ対策』のテストイベント

「テストイベント」における暑さ対策の試行

Wave 1 の屋外競技のテストイベントを中心に、東京都と組織委員会が、政府、IF、NFと連携して実施。

- | | |
|--------------|-------------|
| ①ビーチバレーボール | (潮風公園) |
| 2019.7/24～28 | IF/NF |
| ②ボート | (海の森水上競技場) |
| 2019.8/7～11 | IF/NF |
| ③トライアスロン | (お台場海浜公園) |
| 2019.8/15～18 | IF/NF |
| ④ホッケー | (大井ホッケー競技場) |
| 2019.8/17～21 | 組織委 |
| ⑤マラソン | (マラソンコース周辺) |
| 2019.9/15 | NF |

国と連携した 情報発信の取組み

- 英語版リーフレット配布
- アンケート調査
(観光庁・環境省連携)

アイディアソン実施など

- アイディアソン実施
- 夏のスポーツイベント視察

追加対策・会場別検討を行い、本大会に活かしていく。

2 昨夏の取組み

屋外競技のテストイベントを中心に、東京都と組織委員会が、政府、IF、NFと連携して実施。

	暑さ対策検証内容	
アスリート向け	<ul style="list-style-type: none">・大会本番時を想定した各競技の暑さ対策	<ul style="list-style-type: none">▶空調付きアスリートラウンジ、水・氷の提供、アイスバス、スポットクーラーおよびミストファンの設置などの基本的な暑さ対策▶その他、競技特性に応じた個別の暑さ対策
情報発信	<ul style="list-style-type: none">・テストイベントページでの注意啓発情報発信試行・国と連携したアンケート調査	<ul style="list-style-type: none">▶自転車競技（ロード）（マウンテンバイク）のテストイベントページで、熱中症注意喚起情報を発信。▶環境省、観光庁の御協力のもと、訪日外国人向けアンケートを実施。
観客向け	<ul style="list-style-type: none">・疑似PSA待機列・WBGT値計測・ファーストレスポonder巡回・注意喚起・暑さ対策グッズの配布・クールオフスペース・降雪機	<ul style="list-style-type: none">▶待機列の誘導オペレーション検証▶大型冷風機、扇風機の運用、携帯型ミスト噴霧▶テント内外、観客席、木陰、スタッフ用本部、乗降場での計測▶熱中症予防、水分補給を促すスタッフ巡回▶体調不良者早期発見、医務室との連携▶声かけ、丸型穴あきチラシ配布▶ネッククーラー、丸型穴あきチラシ等の配布（ラストマイル）▶室内WBGT値計測、利用者状況▶降雪機による効果検証、WBGT値計測
大会スタッフ向け	<ul style="list-style-type: none">・休憩の取り方・暑さ対策グッズの配布	<ul style="list-style-type: none">▶一部会場で休憩のローテーション方針を提示し実施。▶ボランティアにアンケートを行い、適切な休憩時間について検証。▶全会場で飲料水、一部会場で塩分補給製品、汗拭きシート、冷却シート、アイスクリーム、体調管理シートを配布。▶ボランティアにアンケートを行い、グッズの有効性を検証。

2 昨夏の取組み

テストイベントでの主な取組み内容とアンケート結果

取組み内容	写真	WBGT値・アンケート結果・意見	課題
PSA前行列の日除けテント PSA前行列を覆うテントによる日射の遮蔽		<ul style="list-style-type: none"> ● テント内は、テント外よりもWBGT値が1.0℃～2.7℃低い ● テント外からテント内に入った際、約80%が涼しさを感じたと回答 	<ul style="list-style-type: none"> ● 長時間テント外に並ぶと予想される会場のテントの必要数の精査
大型冷風機の送風 PSA前行列テント内の待機者に大型冷風機による送風		<ul style="list-style-type: none"> ● 90%以上が大型冷風機の涼しい効果を感じたと回答 ● 風向が一定方向でない方が良い、テント外にも必要との意見もあり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 首が左右に振れる大型冷風機の活用、行列の左右両方から冷却するなど、効果的に涼ませる送風方法追加する場合の電源確保
携行用ミスト噴射 PSA前行列待機者へのミスト噴射による涼しさ、エンターテインメントの創出		<ul style="list-style-type: none"> ● 75%が濡れることを気にしないと回答 ● 否定的な理由として、化粧、日焼け止めが落ちる、髪型が崩れる、スマートフォン、メガネ等濡れると困るなど 	<ul style="list-style-type: none"> ● ミストの粒子が細かいもの、電動タイプなど機器の選定 ● 濡れたくない人への噴霧方法 ● ミスト水の衛生確保 ● 観客を楽しませる演出方法
グッズ配布 丸型穴あきチラシ（うちわ）、クールネックタオルなど		<ul style="list-style-type: none"> ● 丸型穴あきチラシ（うちわ）、ネッククーラーはおおむね肯定的な回答 	<ul style="list-style-type: none"> ● デザインやエンブレムなどの知的財産権の使用の確認
クールオフスペースの運用 FOHにエアコン付き壁付テントを設置		<ul style="list-style-type: none"> ● 観客よりも競技ボランティアの利用多数 ● 暑い時間帯、利用者が多い時間帯は26℃の維持が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度維持方法の検討 ● 利用対象者、運営方法の決定
降雪機の利用		<ul style="list-style-type: none"> ● 冷感、エンターテインメント性あり ● 否定的な意見として、服や髪がかなり濡れてしまう、足元が滑りやすいなど 	<ul style="list-style-type: none"> ● 風向き、降雪範囲の検討

2 昨夏の取組み

東京2020 アイディアソンの実施

<日時> 2019/9/25 (木) 19時~22時

<目的> 「暑さ対策」について、①幅広いテーマからアイデア創出 ②重要性啓発を図る機会とする

<内容> 参加者が、自分たちでできる「暑さ対策」を考え、自らのアクション (自助/共助/公助) のきっかけにもなるよう、組織委員会が提供するテーマについてアイディアブレスト会議を実施。関心の高い若手起業家のゲストや学生・社会人など約50名が集い、アイデア創出頂いた。

①自助や地域での共助公助で行う暑さ対策

-自身や周りとの連携して行える身近な暑さ対策とは

②暑さに関する情報を確実に届ける、伝達手段

-情報伝達が難しい高齢者、訪日外国人にどのように伝えるか

③2020年以降も続く、「暑さ」という社会課題に対して

-地球環境との調和を図りながら進められる暑さ対策とは



2 昨夏の取組み

テストイベントででてきた課題

- アスリート向け
 - ・ 競技スケジュールの検討
 - ・ 競技ごとの個別対策の検討
- 情報発信
 - ・ 外国人向けに、日本の暑さ、熱中症自体を啓発する効果的な方法の検討
 - ・ 聴覚的 + 視覚的な注意喚起、ｽﾎﾟｰｯﾌﾟﾚﾝﾃﾞﾝｼﾞｮﾝとの一体的運営の方法検討
- 観客向け
 - ・ 日射遮蔽のための追加策検討
 - ・ 飲料の供給に関する検討
 - ・ 熱中症患者発生時のオペレーションの確認
 - ・ WBGT値計測、運用の検討
- 大会スタッフ向け
 - ・ 職員の意識醸成と知識付与
 - ・ ボランティアへの啓発強化
 - ・ 暑さ対策グッズの配布・飲料の提供
 - ・ 休憩の取り方の再検証、休憩室の適切な距離

3 暑さ対策の検討状況

(1)アスリート向け：IFへの意見照会を踏まえた今後の対応

<IFからの施設・備品に関する意見>

主な要望は、空調付きのアスリートラウンジや更衣室、水・氷の提供、アイスバス、ミストファン、スポットクーラーおよびテント／日陰の設置など。



概ねテストイベントでも実施した内容であり、今後、数量などの詳細について検討を行う。また、上記以外にも追加の要望を受けている競技もあるため、適宜IFと連携しながら検討を進めていく。

3 暑さ対策の検討状況

(1)アスリート向け：IFへの意見照会を踏まえた今後の対応

＜パラリンピックアスリートへの暑さ対策＞

- 主な要望は、オリンピックと同様に、アスリートラウンジや更衣室の空調管理、飲料水・氷の提供およびテントの設置など
- その他、体温管理が必要なアスリートに配慮した屋内会場の温度管理の徹底など



- パラリンピックにおける対策については、オリンピックをベースとし、パラリンピック特有の対策について適宜IFと連携し、検討を進めていく。

3 暑さ対策の検討状況

(2)観客向け：情報発信のマイルストーン



3 暑さ対策の検討状況

(2)観客向け：情報発信 大会公式ウェブサイトのイメージ

大会前

JNTOや環境省と連携し日本の天候の特徴の紹介や熱中症対策方法、全国の暑さ指数（WBGT）を提供する環境省ウェブサイトへの誘導。



INTOサイト


- 日本の天候・気候の紹介
- 地域ごとの平均気温や降水量
- 地震や火山、熱中症の注意喚起

環境省熱中症予防情報サイト

- 熱中症の原因
- 対策方法
- 全国のWBGT情報

大会期間中（5月～）

ウェブに加えて、モバイルアプリを活用し、位置に応じた情報の配信や注意喚起を行う。



Forecast C° | F°

TODAY 27 JUL, Mostly sun

32° 23°/14° **Heat 29.6**

20%

Disciplines

会場ページ

会場周辺の天気予報詳細。
最新の今日と明日の天気予報。
最新の7日間程度の天気予報。
会場周辺の暑さ指数(WBGT)を色分けして表示。

観客向けページ

熱中症予防の対策や事前情報。
熱中症リスクや対策に関する情報を提供する。

暑さに関する注意喚起情報

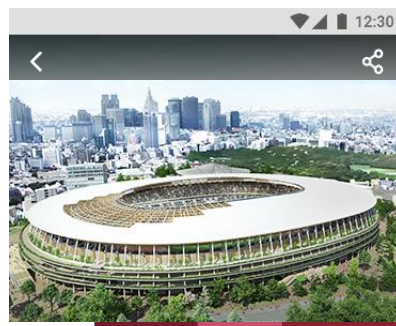
定期的に通知を配信することで、事前に飲み物や衣服の準備をしてもらう。
例)「日中は35度を超えます。こまめな水分補給などで熱中症を予防しましょう」

各種警報

緊急地震速報、津波警報、噴火速報、気象特別警報、熱中症情報、など。
※発報の閾値は検討中

3 暑さ対策の検討状況

(2)観客向け：情報発信 大会モバイルアプリのイメージ



日中は35度を超える予報です。
こまめな水分補給などで熱中症
を予防しましょう。

閉じる 表示

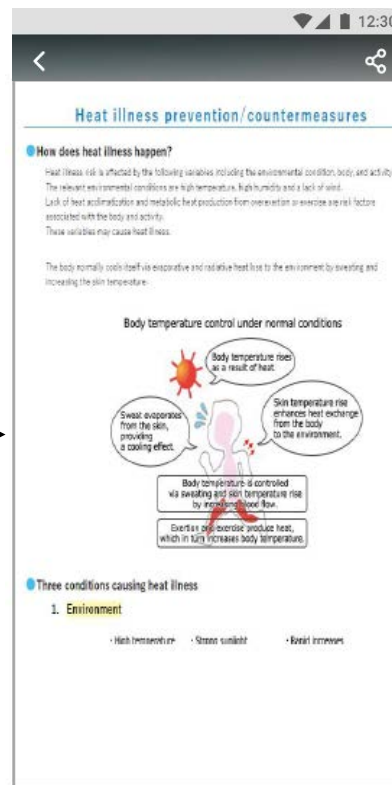
関連情報へのリンク等



VENUE
**National Olympic
Stadium**

Forecast C° | F°
TODAY 27 JUL, Mostly sun
☀️ **32** °23°/14° Heat 29.6
💧 20%

EVENTS:



会場ページ

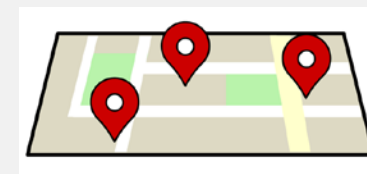
- ・会場周辺の天気予報詳細
- ・会場周辺の暑さ指数(WBGT)

観客向けページ

- ・熱中症予防の対策や事前情報

他

- ・ラストマイル地図および会場内地図にクールスポットの位置を掲載予定。

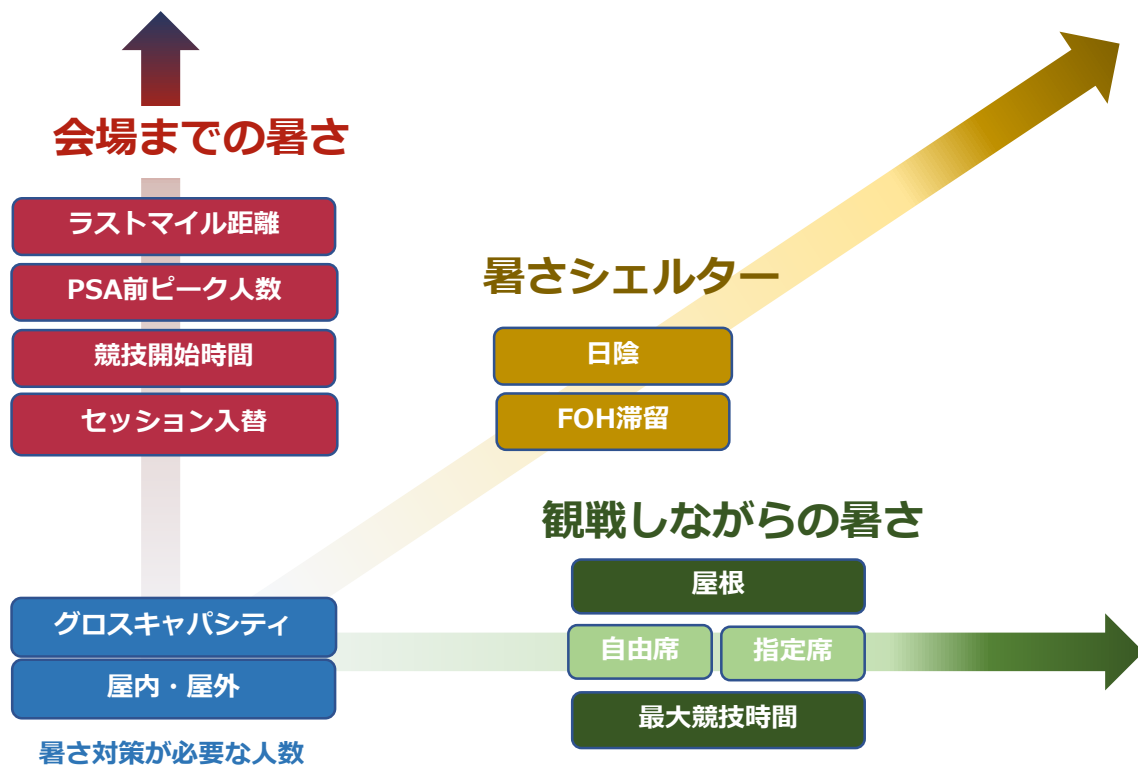


3 暑さ対策の検討状況

(2)観客向け：会場における対策

会場別対策の考え方

会場特性に基づき、暑さのリスク要因を分析し、精緻化を行う。



○屋外競技における観客への対応が課題。

- ・屋根の追加設置は安全上・予算上の制約から困難だが、事前に帽子を被る、水分補給を随時行う、など熱中症予防対策に関する広報を多言語で行うことやテストイベントでの検証を踏まえた観客向けの暑さ対策を重点的・効率的に行っていく。

3 暑さ対策の検討状況

(2)観客向け：会場における対策

追加の暑さ対策

日除けテント増設

- ・会場特性に基づいた様々な暑さリスクの分析
- ・今夏のテストイベントの状況の検証

→これらの結果から、屋外会場を中心に日陰の創出が重点課題となっており、日除けテント増設を検討中。

仮設給水栓増設

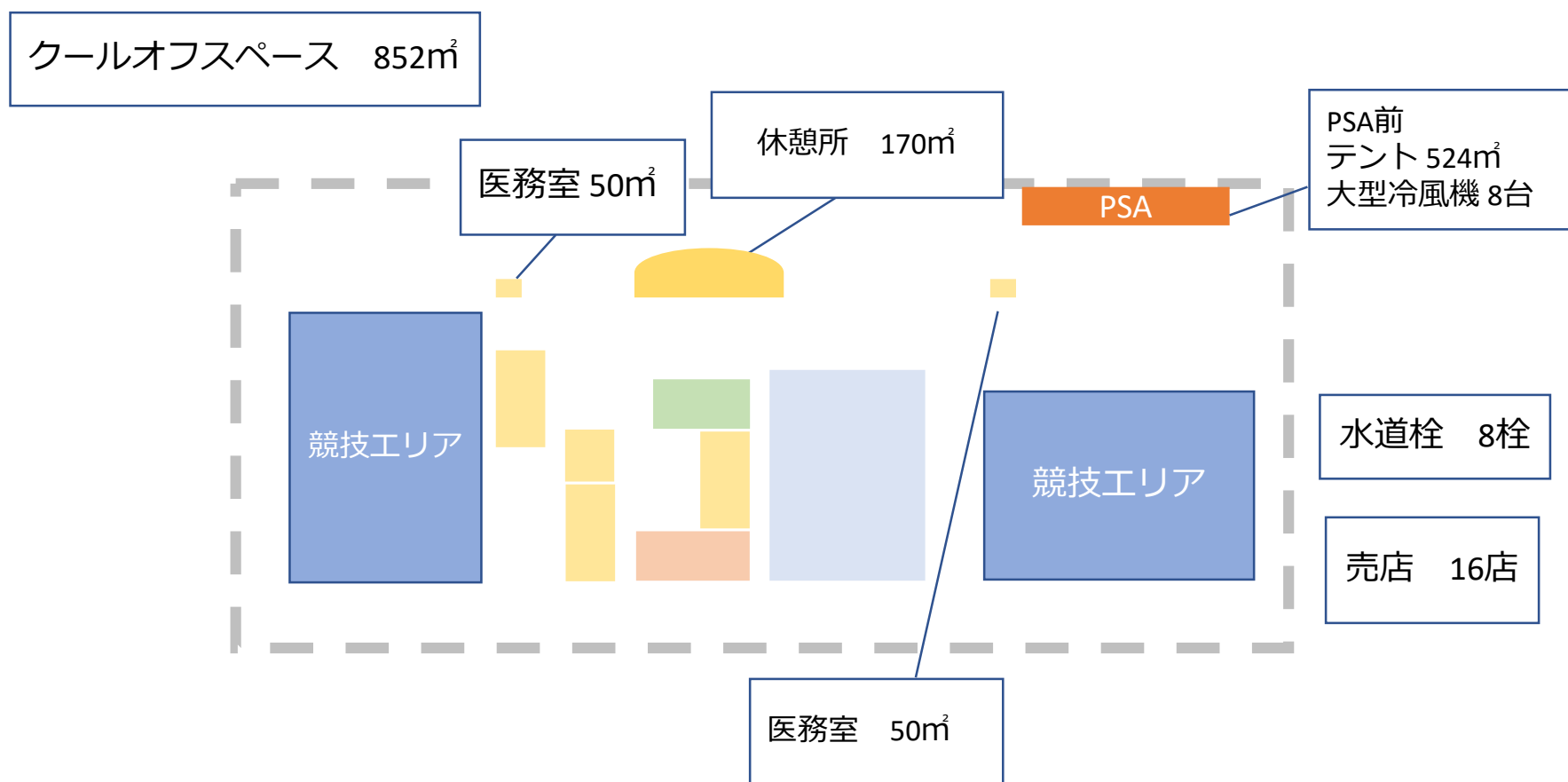
下記の基準に基づき、FOHの仮設給水栓の増設を検討中。

- ・屋外会場 滞留あり（潮風公園など） …500人に1蛇口
- ・屋外会場 滞留なし …1000～3000人に1蛇口

3 暑さ対策の検討状況

(2)観客向け：会場における対策

会場イメージ図



3 暑さ対策の検討状況

(2)観客向け：会場における対策

適切な飲料の確保について

- ・ 観客の皆さんの観戦にあたって、必要な時に必要な量の飲料を取れる環境をパートナー企業とも連携して整備します。
- ・ また、本大会の特例措置として、一人1本750mlまでのノンアルコール飲料の持込を可能とします。
- ・ 会場には、様々な飲料を購入できる売店や水飲み場を適切に整備して、熱中症対策に重要な、観客の皆さまの飲料の確保に努めます。

3 暑さ対策の検討状況

(2)観客向け：会場における対策

暑さ指数（WBGT）の計測と周知

一人ひとりが熱中症対策につなげられるよう、様々なチャネルを通じて、
気象情報や暑さ指数（WBGT）情報の発信を行う。

I. 2020年度に環境省が把握予定の全43競技会場の測定データを大会公式ウェブサイト・大会モバイルアプリにて発信する方向で調整中。



II. 組織委員会では、競技会場及び選手村にて暑さ指数（WBGT）を計測し、イベントアラートシステムやスポーツプレゼンテーションにて発信を行う方向で検討中。



イベントアラートシステム



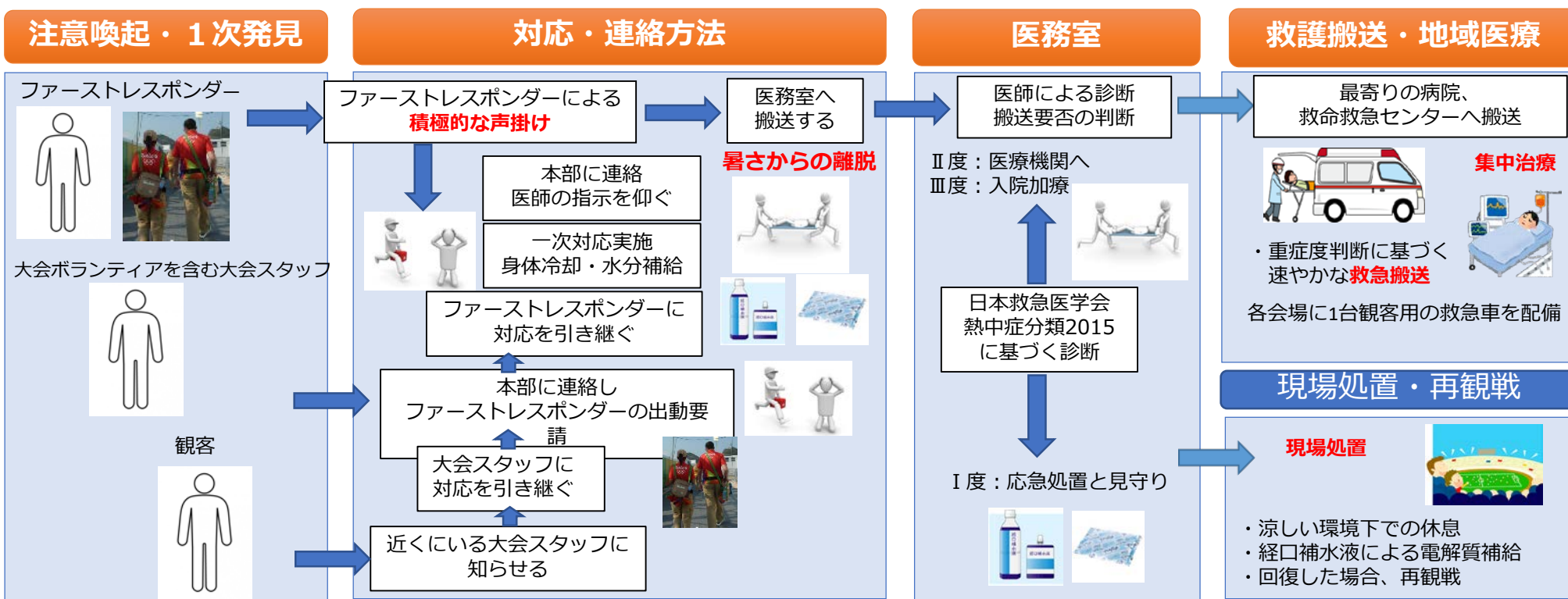
スポーツプレゼンテーション

3 暑さ対策の検討状況

(2)観客向け：会場における対策

体調不良者の1次対応（イメージ）

周囲からの「声かけ」早期発見と対処で重症化を防ぎ、再観戦できる環境を整備。



3 暑さ対策の検討状況

(3)大会ボランティア・スタッフ向け

●暑さ対策グッズの配布

テストイベントでの検証を踏まえ、以下の暑さ対策グッズを配布する方向で調整中。
屋外会場の大会ボランティアを含む大会スタッフ向けのペットボトルの追加を
関係FAで調整中。

〈飲料水〉

- ・ ペットボトル 1人当たり (屋外会場)4本、(屋内会場)2本
- ・ 給水器 給水用の設備を全会場に設置

〈暑さ対策グッズ〉

- ・ アイスクリーム…身体冷却、リフレッシュメント用
- ・ 塩タブレット…塩分補給用
- ・ 汗拭きシート…身体冷却用
- ・ 瞬間冷却剤…緊急時の身体冷却用

3 暑さ対策の検討状況

(3)大会ボランティア・スタッフ向け

- 職員の意識醸成と知識付与

会場に配置される職員に暑さ対策の知識を身に付けて頂き、
「予防」と「対処」の実践を徹底する。 ⇒ 今後、研修機会の付与

- 大会ボランティアへの啓発強化

各研修機会を通じ熱中症予防に関する情報提供を行い自己管理の重要性を周知する。

- 休憩の取り方の再検証

テストイベントでは休憩が十分に確保できなかったボランティアがいたことから、
適切な休憩時間の確保を促していく。

【休憩の取り方の参考例】

- ・ 個人単位で屋内活動と屋外活動を30分ずつ交代
- ・ 1時間の中で計15分休憩をとる …等